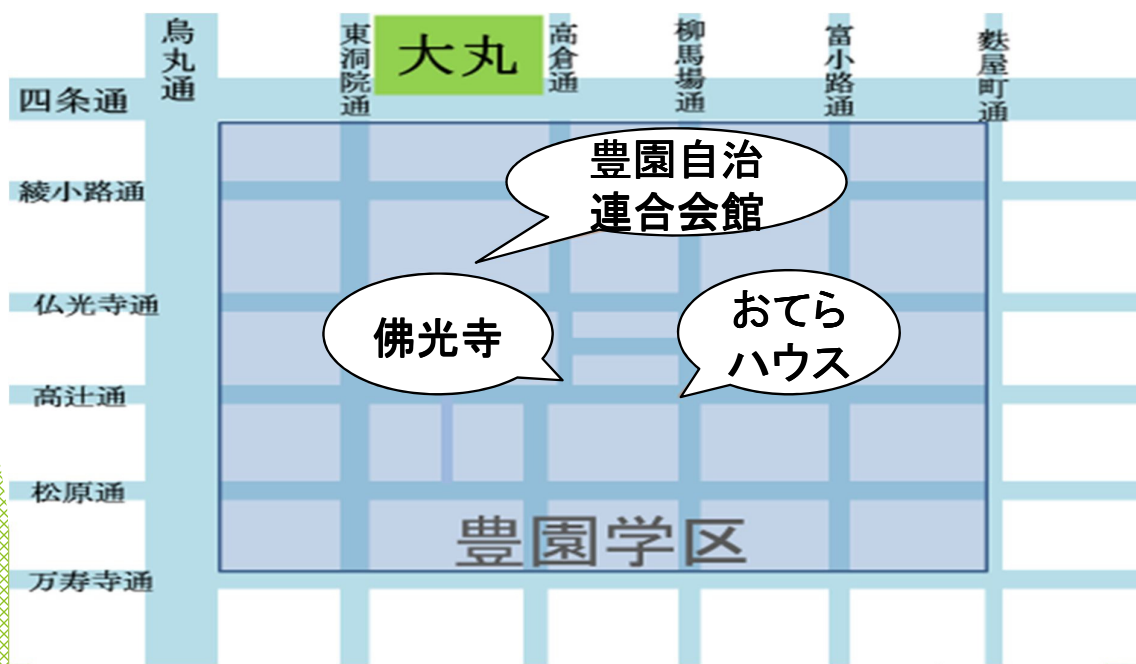


豊園 ～時間と距離を越えて繋がる 縁側プロジェクト～

豊園～人をつなげる縁側プロジェクト～
実行委員会

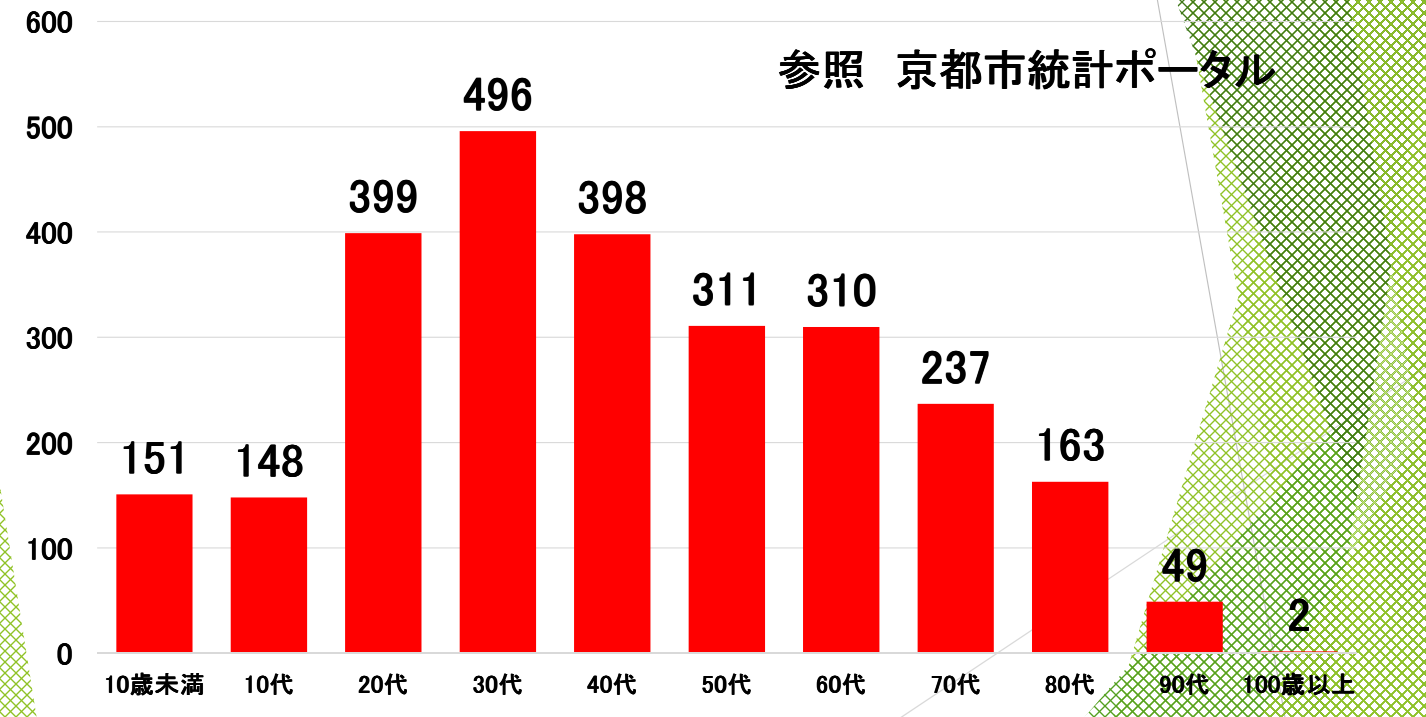
豊園学区とは



人口：
2664人

世帯数：
1865

豊園学区 世代別人口 (平成26年4月時点)



豊園の方々

事業に関わるの方々

地域外の方々

豊園自治連合会
企画・運営
会場提供・広報

学生
企画・運営

NPO法人
らくさいライフ
スタイル
料理教室・
食育セミナー

職人
伝統技術の
提供

佛光寺
会場提供
資材提供
広報

洛央小学校
広報

三つの事業

- ①野菜博(2回実施)
- ②手作り広場
- ③上映会

三つの事業

事業の目的

- ▶ 地域の若年層が地域のイベントに参加し、地域に興味を持つ。
- ▶ 住民が気楽に集まれる、まちの縁側をつくる。
- ▶ 世代間交流を行う。

期待された効果

- ▶ 普段は参加されない住民が参加しやすくなる。
- ▶ 住民にとって敷居の高い場所の敷居を低くできる。
- ▶ 若年層と高齢者の世代間交流を通し、住民同士の交流を深める。

① まちなか野菜博(一回目)

▶ 開催日時・開催場所

9月12日(土)、仏光寺の境内

▶ 対象

豊園学区に在住または、関係のある親子

▶ 参加人数

41人(子供25人、大人16人)、地域のお手伝い(10人)

▶ 内容

プロの講師を招いた親子対象の料理教室。
講師による食育セミナー。



カレーを食べている様子



食育セミナーでの発表の様子

② 手作り広場

▶ 開催日時・開催場所

10月25日(日)、豊園自治連合会館

▶ 対象者

子供からお年寄り(豊園学区外の方も含む)

▶ 参加人数

約60人(子供45人、お年寄り15人)

▶ 講師

畳職人、組紐職人(豊園学区在住の職人)

▶ 内容

豊園学区の伝統である、組紐と畳ベリを使ったミサンガ作り。



ゼミ生と住民が教えている様子



伝統職人が伝統技術を教えている様子

③上映会

▶ 開催日時・開催場所

12月6日(日)、豊園自治連合会館

▶ 対象者

子供からお年寄り(豊園学区以外の参加も可能)

▶ 参加人数

15人(若年層2人、お年寄り13人)

▶ 写真提供者・過去の映像の提供者

豊園学区の住民

▶ 内容

豊園学区の現在と昔の比較映像と、私たちの一年間の活動を放映。



昔の映像を放映している様子



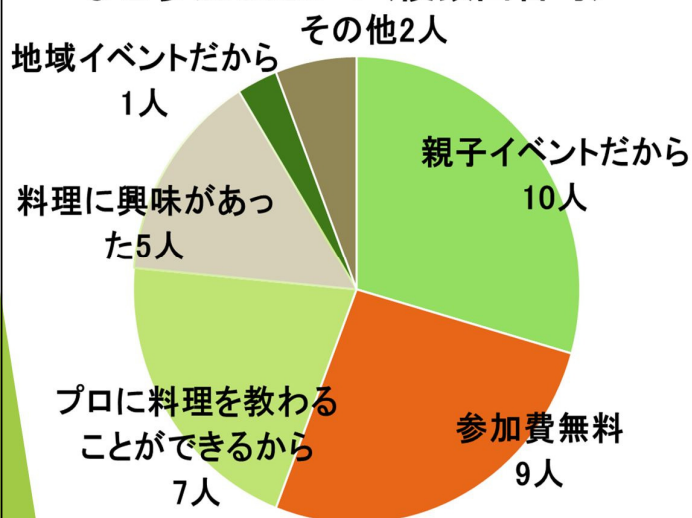
ワークショップ行っている様子

④まちなか野菜博(二回目)

- ▶ **開催日時・開催場所**
2月6日(○)、仏光寺の境内
- ▶ **対象**
豊園学区に在住または、関係のある親子
- ▶ **参加人数**
24人(子供14人、大人10人)
- ▶ **内容**
プロの講師を招いた親子対象の料理教室。
講師による食育セミナー。

まちなか野菜博(1回目)

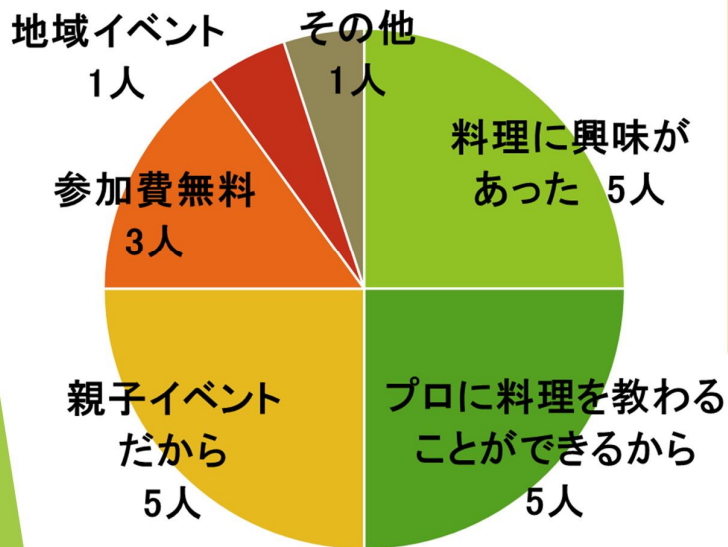
なぜ参加したか?(複数回答可)



- ・地域住民は親子イベントを期待している。
- ・参加費無料でプロに学ぶことができるということもあり、人が集まった。
- ・地域住民だからといって、地域イベントを求めているわけではない。

まちなか野菜博(2回目)

参加理由

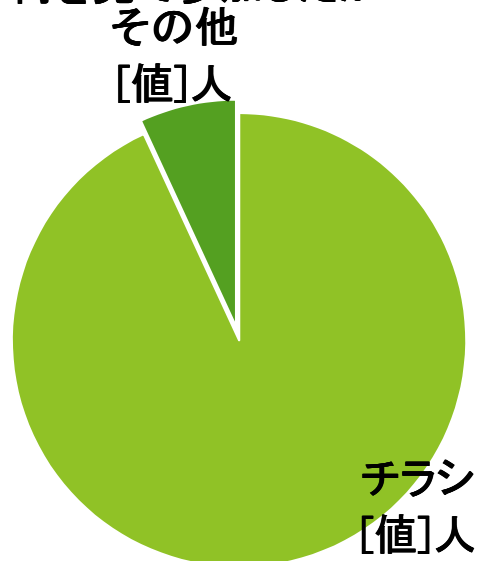


・1回目と同様に地域イベントだから参加したわけではない。

・「子供と料理をするきっかけ」、「家では野菜を食べない子供がこのイベントでは食べた」等の感想が寄せられた。

手作り広場アンケート調査

何を見て参加したか？



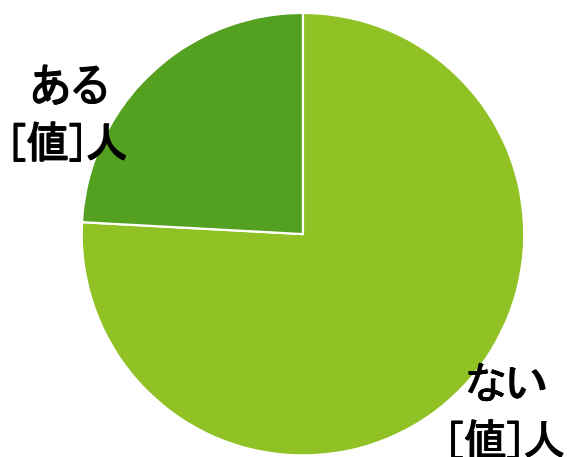
小学校に配布したチラシの効果が大きい。



- ・これからも小学校の協力が必要不可欠。
- ・回覧板の効果が少ない。

手作り広場アンケート調査

伝統技術に触れたことがあるか



・豊園学区の伝統技術に魅力を持ってもらうことができた。

・豊園学区が伝統職人の町という認識が薄いことが浮き彫りになった。

上映会ワークショップ

良かった点

- ▶ 自分たちの活動を客観視することができた。
- ▶ 地域のつながりを再確認することができた。

改善点

- ▶ 地域の意見をもう少し組み入れる。
- ▶ 早めの広報活動が重要である。
- ▶ 活動の引き継ぎが必要である。

成果

- ①事業に参加した子供が他の事業にも参加。
- ②新規の人のイベント参加。
- ③子どもとお年寄りの世代間交流。
- ④敷居が高い自治会館を知ってもらえた。
- ⑤小学校を使っでの広報活動。

わたしたちの学び

- ①地域内交流の重要性。
- ②世代ごとの地域に対する意識の違い。
- ③次世代の人材発掘の難しさと重要性。
- ④地域が求めているものを理解する。
- ⑤初期段階から企画を作り上げることの難しさ。
- ⑥「報告・連絡・相談」の重要性。

課題

・手作り広場

子どもの参加は多く見込まれるが、大人の参加が少数である。

・上映会

お年寄りの参加は多いが、子ども、若者の参加が少ない。

課題の解決策

手作り広場

セミナー + 手作り

(具体例)

マニキュアの様々な使い方のセミナー。
実際に体験する体験型イベントの同時開催。

上映会

スタンプラリー + 紙芝居orカルタ

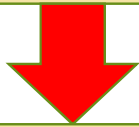
(具体例)

- ・豊園学区の寺社・仏閣、伝統職人の話を聞く。
スタンプラリーの開催。
- ・スタンプラリーを通して得た知識で紙芝居orカルタ作り。

展望

対応策

今回、行った親子と地域住民が触れ合えるイベントの継続
→地域に親子が根付く。

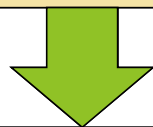


世代間交流
担い手の発掘

提案

まちなか野菜博を地域の
定期イベントにしてみてもは？
来年度以降は
親子中心にしたイベント。

誰もが参加したくなる
体験型事業



世代間交流



新しい担い手の発掘



交流の場が「縁側」

